

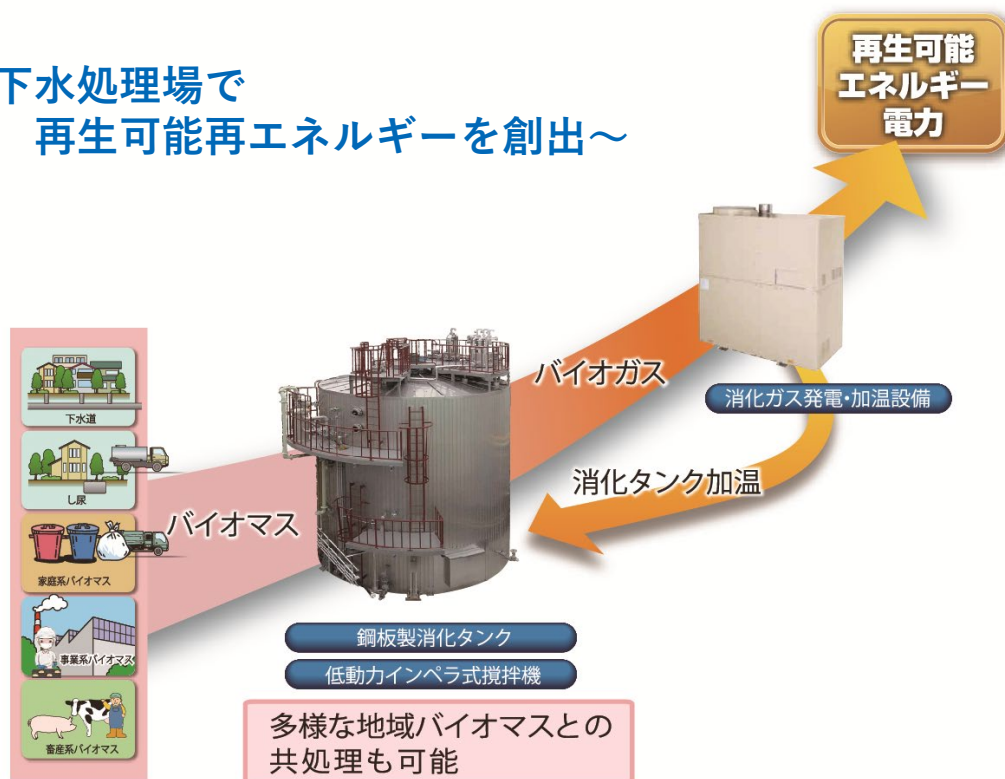
消化ガス発電システム

(消化・加温・発電)

下水処理場から創るエネルギーにより下水汚泥のエネルギー化率を向上

下水汚泥の処理過程で発生する消化ガスの有効利用を促進し、下水汚泥のエネルギー化率向上、高効率発電で再生可能エネルギーの創出をご提案します。

～下水処理場で 再生可能再エネルギーを創出～



特長

●ガスの発生量に応じた台数運転が可能

ガスの発生量は、季節・投入原料により変動します。
複数台による並列設置により、フレキシブルな運転を実現します。

●メンテナンス時も運転を継続

複数台設置の場合、メンテナンス時や万が一の故障時でも1台ずつのため、運転を継続（高稼働率）

●設備予算や発生量変動に対する増設が容易

小型・中型パッケージのため、予算に合わせた増設なども容易です。

●発電機より発生する排熱で消化タンク加温設備として兼用可能

発電機より85℃の温水が取り出し可能で、消化タンクの加温設備として兼用できます。